

不二速報



静岡：内線 2790
suu@jade.dti.ne.jp
浜松：内線 3910
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp
<http://shizudai-union.net/>



発行日 2023年3月6日

第3号 2022年度 現在の取り組みと年度末のご挨拶 【全教職員配布】

2022年度におきましても、皆様よりご理解とご支援をいただくなかで、組合活動を推進することができました。執行委員一同、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

以下、年度末の取り組みについての報告を申し上げます。

「物価上昇分に応じた形での月例級・ボーナスの引き上げ」がスムーズに実現されるように、次期人事院勧告への迅速な対応の準備を大学側に求めています。

今年の3月のいわゆる春闘では、労使交渉によって早々に「給与額のアップ」の方向性が決定される企業も目立ってきていますが、国立大学法人に勤務する私たちの「月例級・ボーナス」に関しても、8月の人事院勧告において相応のアップが期待されるところです。この勧告の発表そして秋の国会において「月例級・ボーナスのアップ」が決定した際、それに迅速に対応していただけるように財政的な準備・財務計画立案を大学側にお願いしているところです。

加えて、令和5年の最低賃金の議論（中央最低賃金審議会）でも、こちらもおそらく「物価上昇分に応じた形での時間給の引き上げの提示」が行われるものと予想されます。今年度（令和4年度）も大学側からの理解をいただくなかで非常勤職員の方々への時間給のアップが実施されましたが、来年度においても、今年度に引き続いての「時間給アップ」が実現されるよう、こちら財政的な準備・財務計画立案を大学側にお願いしているところです。

同時に、静岡大学が法人化される前から現在まで長い期間にわたり非常勤の職員として雇用されている方の時間給について、そのキャリアに応じた時間給の設定が今後なされていくように、こちら大学側にお願いしているところです。

（いわゆる残業時間の記録づけ）「時間外労働・休日労働命令簿の正確な作成」が、各部署において今後も何ら忖度なく当然の事として行われていくような職場の雰囲気づくり・労働環境づくりを大学側に求めています。

健康を維持するためにも、サービス残業をなくすためにも、また業務量の調整や人員配置を最適なものに組織改善していくためにも、「労働時間の正確な管理」はとても大切な取り組みのひとつであることは間違いありません。各部署の正確な残業時間の記録づけによって得られる貴重なデータを、人員配置の見直しや業務量の調整・分担にこれま

で以上に有効活用していただけるよう、大学側をお願いをしているところです。労働時間はその人の掛けがえのない人生の時間の一部。その生きた証ともいえる記録は敬意をもって扱われるべきものであり、そして当然の対価が与えられるべきものであり、組織改革のための重要なエビデンスにもなるものであると考えています。職員の方々の時間外労働時間（いわゆる残業時間）の記録を、しっかりと付けていただけていただけると幸いです。

学部の経営的な赤字解消のためや、新学部の設置準備等の理由によって、通常のプロモートが数年間にわたり抑えられている状況が散見されますが、今後、その者がプロモートされる際の新しい「級号」の設定においては、生じた給与額の格差是正のために何らかの配慮をしてもらえることを大学側に求めています。

学部（等）によっては、赤字経営の解消のためや新学部の設置準備等の理由のために、本来の基準においてはプロモートされるはずの教員が、昇任できない状況が続いています。このことによる弊害は、組織や個人の両方において多岐にわたっていくものですが、こと対象者個人に関しての弊害として考えられることは、「若く昇任された方と比べると、給与額が低く抑えられてしまう」ことであり、さらに「55歳昇給停止によって、その格差が解消されないまま定年を迎えてしまうことによりいわゆる退職金等の支給額も低く抑えられてしまう」ことなどになると思われます。その弊害の解消・格差是正に向けた取り組み（たとえば新しい級号の設定における配慮等）を大学側に求めています。

職場環境・労働条件の改善、いじめ・ハラスメント防止の関しての相談事に対しては、「連絡を受けてから24時間以内に初動する」を旨として対応させていただいてきました。

今年度も多くの方々から様々なご相談をいただきました。迅速な対応に努めながら、労働組合の知見とネットワークを駆使することによって、その相談事に対しては真摯に対応させていただきました。十分な対応ができていない事柄も多いのですが、少なくとも、労働者の方々のお立場を理解・尊重し、お悩みに寄り添い、解決策をともに考えさせていただきました。少しでも、お役に立てたことがあれば幸いです。

以上、年度末の取り組みについて報告をさせていただきました。3月となり少しずつ春めい参りますが、季節の変わり時、皆さまどうぞお身体ご自愛のうえお過ごしください。また、コロナ禍への対応についても大きな変化が予定されていますが、まずはこれまでの約3年間において、学長はじめ事務局長、教職員関係者の皆さま方には、感染症対策、健康・安全に関する様々なご対応ご配慮をいただきましたこと、ここにあらためて感謝の気持ちを表します。本当にありがとうございました。新年度を迎えると、マスクも必要最低限の利用となるのかとは思いますが、桜の花とともに、教職員の皆さま、学生の皆さんのにこやかな笑顔の花で、この静岡大学のキャンパスが華やいていくことを想像しています。

最後になりましたが、皆さまのご健康と静岡大学の益々の発展、また、各人の能力が最適な形で発揮されていく働きやすい職場環境、雇用が守られ安心して働ける労働条件の維持とその向上を祈念しております。